



ほろの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011～2012年度
国際ロータリーのテーマ
ほろの中を見つめよう
博愛を広げるために
2011～2012年度
RI会長 カルヤン・ハネルジー

WEEKLY REPORT

ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

創会 立 1980年(昭和55年)1月10日
幹事 長 高須 洋志
 事 馬場 将嘉
クラブ広報委員長 関谷 俊征
例会 日 毎週木曜日PM12:30～
 場 ヒルトン名古屋

事務局 460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3
ヒルトン名古屋910号
TEL: 052-211-3803
FAX: 052-211-2623
E-MAIL: 2760_nagoya@mizuho-rc.jp
URL: http://www.mizuho-rc.jp/

第1511回例会

2011年7月7日(木) 雨 第1回

～ロータリーを考える月間～
クラブテーマ:「熱田の杜・友愛・気品」

司 会 : 亀井直人会場委員長
斉 唱 : 「君が代」「奉仕の理想」
ビ ジ タ ー : 阿部博(名古屋中RC)

会長挨拶

高須洋志会長

皆さんこんにちは。初めての挨拶をさせていただきます。私の入会は49歳の時で今年68歳になりますので、もう19年目に入りました。会長エレクトになっての一年間は時が過ぎるのが早いと感じておりました。入会した当初はいつか自分が会長をするなどとは夢にも思いませんでしたが、月日が過ぎるのは早く、ついにこのような時が来たかという思いです。



東日本大震災の後に東北に行く機会が2度ほどございました。「月日は百代の過客にして行き交う年もまた旅人なり」と言うのは、松尾芭蕉の「奥の細道」の出だし部分です。私も時が経つ早さと旅立ちへの不安を感じております。一年間うまく乗り切れるかどうかと心配しています。芭蕉は河合曾良という愛弟子を連れて150日間の東北の旅に出ましたが、私は馬場将嘉という幹事を連れて1年間の航海に出ます。お互いに無事港に帰れるかどうかは皆さんの御協力に掛かっております。どうぞ1年間よろしくお願いいたします。

増田S.A.A.からのお知らせ

本年度よりS.A.A.を仰せつかった増田でございます。よろしくお願いいたします。本日は新入会員の方が4名おられ、行事も沢山ございますので、馬場幹事からの要請があり、10分間の例会延長を決定致しましたのでお知らせします。

バッジ伝達式

田中直前会長より高須新会長へ、加納直前幹事より馬場新幹事へのバッジの伝達が行われました。また、新会長・新幹事より直前会長・直前幹事へ記念バッジの贈呈が行われました。



ニコボックス

近藤茂弘ニコボックス委員長

- ・本日入会させて頂きました、いとこの湯澤信雄君をよろしくお願ひ致します。 阿部 博さん
- ・7月10日は家内、7月25日は私の誕生日です。 布目 徳さん
- ・①高須会長、馬場幹事始め新役員の皆さん本年度よろしくお願ひ致します。頑張ってください。②湯沢信雄さんをよろしくお引き立て下さい。 野崎 洋二さん
- ・高須会長、馬場幹事、いよいよはじまりますね。今年は地区大会のホスト担当です、高須流の指導力で頑張ってください。 増田 盛英さん
- ・一年間宜しくお願いします。 高須 洋志さん
- ・7月1日は私の誕生日です。61才になりました。 内田 久利さん
- ・7月16日は家内の誕生日です。 大嶽 達郎さん
- ・高須丸のスタートを祝って!!7月は妻の誕生日です。 天野 正明さん
- ・今日より1年間よろしくお願ひします。 馬場 将嘉さん
- ・神田広一さんの入会を祝して。 加納 裕さん
- ・岩本成郎さん、先日は大変ありがとうございました。 市岡 正蔵さん
- ・今日から入会します。宜しく御願ひします。 湯澤 信雄さん
- ・このたび縁ありまして、入会させて頂く事となりました。よろしくお願ひいたします。 湯澤 勇生さん
- ・昨年度は大変お世話になり、ありがとうございました。本年度もよろしくお願ひいたします。 田中 隆義さん
- ・この一年中よき思い出ができるように。 江口 金満さん
- ・本年度もよろしくお願ひします。 鈴木 淑久さん
- ・新入会員の方、入会おめでとうございました。いよいよ高須年度のスタートです。 関谷 俊征さん
- ・2011～2012年度高須・馬場丸の船出をお祝ひして。 鈴木 圓三さん

- ・高須会長、馬場幹事出航おめでとうございました。
高村 博三さん 高木 勝さん 吉木 洋二さん
岩本 成郎さん 松岡 道弘さん 稲葉 徹さん
岡本 忠史さん 遠山 堯郎さん 長瀬憲八郎さん
宗宮 信賢さん

7月お誕生日おめでとう

- 内田 久利さん 渡辺喜代彦さん 岩田 吉廣さん
布目 徳さん 湯澤 信雄さん 鈴木 圓三さん
田中 隆義さん

皆さんこんにちは。昨年度は大変お世話になり、ありがとうございました。いよいよ本日7月7日七夕より新しい年度が始まります。今年度は11月に行われる地区大会のホストクラブという大役を仰せつかっております。高村大会委員長以下会員全員が一丸となって、地区大会を成功裡に終わらせたいと思っています。どうぞ皆さんご協力のほどよろしくお祈いします。本日から新しい方が4名仲間に入ってこられました。親睦が一番重要だと思っておりますので、早くクラブに馴染んでいただき、楽しい仲間を作ってくださいと思います。そして素晴らしいロータリアンになっていただくことを期待しております。それでは今年度の高須会長、馬場幹事、理事役員の皆様の活躍と会員皆様の御健康、御多幸を祈念して乾杯！



山口哲司さんの推薦者：岡村達人さん

山口さんは昭和39年生まれの満47歳です。職業分類はイベント企画業という大変珍しい職業です。株式会社テツ・コーポレーション代表取締役をされており、事業所は代官町にございます。ご自宅は瑞穂区岳見町です。大学を卒業後、1991年に会社を興されたそうです。家族構成は奥様と4人の子宝に恵まれております。ゴルフはハンデ3ですので、この中でゴルフ仲間ができると思います。今後ともよろしく御祈いします。

湯澤勇生さんの推薦者：高須洋志さん

湯澤勇生さんの本当の推薦者は関谷さんですが、私も面識はございました。「熱田法人会」青年部会の部会長をされていた方です。昭和38年生まれの満47歳です。先程の紹介にもありましたが輸送機器販売業である中部メイキコー株式会社の代表取締役社長をされています。事務所が豊明市、自宅は東郷町にあります。湯澤さんについて関谷さんが一番詳しいと思いますので、また彼からもお話が聞けると思っています。

湯澤信雄さんの推薦者：野崎洋二さん

湯澤信雄さんは昭和28年7月29日生まれです。株式会社メイジの代表取締役社長です。事業所は名古屋市熱田区六野、ご自宅は名古屋市昭和区桜山町にございます。昭和47年東海高校卒業、昭和52年に日本大学商学部を卒業後、東洋プライウッドに入社されました。平成8年明治時計株式会社の代表取締役、平成17年1月に株式会社メイジの代表取締役になりました。趣味はゴルフでハンデ14です。緑ヶ丘カントリークラブの幹事をしており、本日ゲストで来ている緑ヶ丘カントリークラブ理事長の安部さんとはいとこ同士です。湯澤さんは私によく似た好青年ですので、よろしくお祈いいたします。

バッジ・名札授与：高須洋志会長

なお今4人の方にお渡ししたバッジは、ロータリアンであるという誇りと、奉仕をさせていただくという謙虚な心で着用することになっております。名札は会員、ビジター、ゲストにあなたの氏名を覚えていただくのに役立ちます。

新入会員所属委員会紹介：馬場将嘉幹事

新入会員の皆さんご入会おめでとうございます。今から皆さんの所属の委員会と相談役であるカウンセラーをご紹介します。神田広一さんはクラブ広報委員会所属でカウンセラーは鈴木圓三副委員長、山口哲司さんは会場委員会所属でカウンセラーは伊藤豪副委員長、湯澤勇生さんはクラブ広報委員会所属でカウンセラーは関谷俊征委員長、湯澤信雄さんは会場委員会所属でカウンセラーは亀井直人委員長です。

神田広一さん挨拶

本日入会させて頂きました東海東京証券の神田でございます。若輩者ですが一生懸命頑張りたいと思いますのでよろしくお祈い致します。私は過去に3回違う地区でロータリーに入会させて頂いています。大まかな流れは分かっているつもりですが、まだまだ未熟でございますので是非ご指導をお願い申し上げます。

山口哲司さん挨拶

先程入会させて頂きました山口哲司と申します。瑞穂RCには愛知カンツリーでお世話になっている本多先輩や長瀬先輩、関谷先輩がいらっしゃる。随分前からお誘いを受けていたのですが、やっと入会のお許しをいただきました。名門瑞穂RCの末席に座らせて頂き、大変有り難く思っています。先程からゴルフの話が出ていますが、高村先輩や泉先輩がおいでの中では、とても私が

出席報告

近藤茂弘出席委員長

会員67名 出席49名 (出席計算人数52名)

出席率 81.7% 6月30日は補填により 93.3%

幹事報告

馬場将嘉幹事

- ・本日13時40分よりヒルトン名古屋4階「桜花の間」にて第1回CA、第1回理事会を開催致します。
- ・次週7月14日(木)第1回クラブフォーラム(決算、予算、委員会方針)を行います。同日18時より名古屋東急ホテル4階「栄の間」にて直前会長・幹事慰労会を開催致します。
- ・11月27日(日)13時～17時、ウインクあいちにて第2回俳句大会が開催されます。参加希望・投句は事務局までお申し出いただければ、詳しい資料をお渡しします。(7月21日締切)

新入会員入会式

ただいまから新入会員入会式を執り行います。今回は4人の方が入会されました。五十音順にご紹介させていただきます。一人目は神田広一さん(推薦者：加納裕さん)、二人目山口哲司さん(推薦者：岡村達人さん)、三人目は湯澤勇生さん(推薦者：高須洋志さん)、四人目は湯澤信雄さん(推薦者：野崎洋二さん)です。委員会により神田広一さんは証券業、山口哲司さんはイベント企画業、湯澤勇生さんは搬送機器販売業、湯澤信雄さんは不動産賃貸業に分類されました。R情報委員長の増田さん、職業分類・会員選考委員長の高木さんが4人の方の各事業所を訪問し、面談しました。その面談を経た後、理事会へ報告後承認され、当クラブの会員として受け入れられました。



神田広一さんの推薦者：加納裕さん

神田さんは東海東京証券の新瑞橋支店長をされておられます。6月30日付けで退会されました杉村建二さんの後任という形でご入会されました。生年月日は昭和40年2月4日で現在46歳、愛知学院大学卒業です。事業所は瑞穂区瑞穂通にあり、自宅は緑区鳴海町です。家族構成は奥様と長男長女二人のお子さんがいらっしゃいます。趣味では釣りやゴルフがお得意で、ゴルフはハンデ15の腕前です。皆さんよろしくお祈いします。

ゴルフについて語ることはできません。まだロータリーの「口」の字も分かりませんので、先輩からご指導頂いて、少しでも早く溶け込みたいと思います。よろしくお願いたします。

湯澤勇生さん挨拶

中部メイキコーの湯澤と申します。この度縁をいただき、このRCに入会させて頂くことになりました。今日来たら、もうひとかた「湯澤さん」がいらっしゃる上に、同じ日に入会ということで大変驚きました。若輩ではございますが皆様方にご享受頂きまして、頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。

湯澤信雄さん挨拶

皆さんこんにちは。株式会社メイジの湯澤と申します。先程の湯澤勇生さんも仰っていましたが、私も親戚以外で初めて湯澤という名前の方にお会いしました。栃木県に行くとう湯澤という名字は多いようですが、名古屋から西の方ではあまりいらっしゃらないそうです。これも何かの縁だと思い、仲良く入会させて頂きます。私は子供が中学・高校・大学の間ずっとPTAをやっており、ようやく子供が大学を卒業して、挨拶する機会が無くなって良かったと思っていたら、今度はRCに入会してご挨拶することになりました。しゃべるのは苦手ですが、これから皆様のご指導をいただき、頑張っていきたいと思っております。RCのことは何も分かりませんのでどうぞよろしくお願いたします。

卓話

高須洋志会長

会長挨拶



会長挨拶としまして、RIのテーマからクラブの活動方針まで話をさせていただきます。

今年度のRI会長は第103代会長のカルヤン・パネルジー氏(インド・グジャラートRC)です。今年度のRIのテーマは、「**こころの中を見つめよう 博愛を広げるために**」です。

このパネルジー会長を含めまして2011-13年の長期計画というものをRIが掲げています。

〈2011-13年の長期計画〉

- ・クラブのサポートと強化
- ・人道的奉仕の重点化と増加
(ポリオ撲滅・新世代奉仕プログラム・6つの重点分野・他組織との協力関係・地元及び海外地域でのプロジェクト)
- ・公共イメージと認知度の向上

〈目標〉

1. 会員増強(ユーチューブやフェイスブックに精通した新しい世代の会員を増やす)
2. 広報(ロータリーの物語を伝える)

パネルジー会長がまず目標として強調されているのは会員増強です。但しYouTubeやFacebookに精通した新しい会員を増やすと注釈を付けておられました。情報公開の活動ができる会員、つまり若い世代を入れて下さいということです。今の日本とは違い、インドの会長ですので新しい世代への目が向いているのだと思います。続きまして広報ではロータリーの物語を伝えるとあります。100年以上の歴史があるRCでは色々な逸話が生まれていまして、それを後世に伝えるような広報活動をしていかなければなりません。

〈強調事項〉

1. 強い家族を築くこと
2. 私たちが一番得意としていることを継続していくこと
3. 変える必要があることは変える

強化事項の「強い家族を築くこと」は5000万世帯のうち約36%が1人暮らしをしているという日本の状況からはピンと来ないかもしれません。しかし大家族で暮らすインドでは家族間の強調や協力はあらゆるもののベースになっている実感をお持ちなのでしょう。「私たちが一番得意としていることを継続していくこと」は今までにRCが行ってきた活動(ポリオ撲滅・疾病をなくそう・教育施設の整備など)をこれからも継続していこうということです。「変える必要があることは変える」とは分かりにくいかもしれませんが、裏を返せば変えてはならないものは変えないとも言えます。ロータリアンの哲学や社会奉仕に関わる方針など変えてはいけないものなのでしょう。しかし例会のパターンや行事などは変えていいものになります。

今年度の第2760地区ガバナーは松前憲典氏です。RI会長は今年68歳ですが、松前氏は1931年生まれ81歳です。

今年度のガバナー方針は

「会員増強とクラブの活性化」

ということです。強調事項・重点課題として各2つの項目を述べられています。

〈強調事項〉

1. 社会貢献をする
2. ゆったりとおおらかに生きる

〈重点課題〉

1. 会員増強(地区5000名以上の達成)
2. 「未来の夢計画」への参加

現在この地区の会員数は4800名ほどですが、それを5000名超えるようにと張り切っておられます。人数だけを増やせばいいのかと悩ましい部分でもあります。「未来の夢計画」へはすでに前年度の田中会長と加納幹事が頑張っておりました。提案がRIで認められるかどうか結果待ちの状態です。野崎さんが設立の音頭を取られたアフリカの小学校建設ですが、そこへさらに教員宿舎を作ろうと「未来の夢計画」の中のグローバル補助金を使った事業を計画しています。この計画がRIで承認されましたら今年度から来年度に引き継いで完結させなければならないと思います。

次に今年度のクラブテーマですが、

「入りて学び出て奉仕せよ」

Back to Basics

です。この言葉はRCにとって本質的な言葉ですので、敢えて今更と思われるかもしれません。良く引き合いに出されるライオンズクラブとRCとの違いがこの言葉にあります。「クラブで集まり、社会奉仕をしよう」というがライオンズクラブの基本ですが、RCの基本は「例会に出ることによって奉仕する心を培い、養い、職場に返り社会に出て自らの意思で奉仕活動をしよう」であります。似ていますがニュアンスが違います。この違いを一言で表したのがこの言葉です。前々年度の増田会長が決めた「原点を見つめ直そう」というクラブテーマもRCの基本となる部分です。どんな時代でも課題や問題点を見つけた時に、創業の精神とは何だったのか振り返るときがございます。30周年行事を終え、31年目に前年度の田中会長が就任され次なる一步を踏み出そうと「新たな前進」というテーマを掲げました。「Back to Basics」とはどういったものかいくつかお話しします。全て理解できる方はロータリーの本質についてしっかりと理解されていると思います。しかし部分的にでも分かりにくい事があれば、一緒に勉強して頂きたいと思っております。

〈ロータリーの哲学〉

1. Service above Self
2. He Profits most who serves best

〈ロータリーの綱領(目的)〉

- 1.奉仕の機会として知り合いを広めること
 - 2.事業及び専門職務の道徳的水準を高めること
 - 3.ロータリアンすべてがその個人生活、事業生活及び社会生活に常に奉仕の理想を適用すること
 - 4.奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理想と親善と平和を推進すること
- 哲学と綱領の他に毎週歌っている「四つのテスト」があります。迷った時に自分の行動の規範とし、決めて頂きたいという基本となるものです。「決議23-34」は奉仕の哲学と言われ、RCはどんな姿勢で奉仕に取り組むかを1923年に決議したものです。

〈基本方針・考え方〉

- 1.クラブ奉仕が基本です
- 2.残すべきは残す、変えるべきは変える
- 3.必要な基本情報は理解しましょう
- 4.新たな社会奉仕活動への取組み
- 5.会員は量より質が大切です
- 6.創立の精神の継承(第2世代へ)

クラブ奉仕が基本というのはクラブ自体が楽しくなければなりません、楽しいだけではいけません。哲学などの基本的な部分を変えてはいけませんが、例会の行事や流れ、服装などは決められているわけではなく自分達で決めていけるものなのです。基本情報とは「ロータリーとはどんな団体なのか?」ということで、それをきちんと理解しなければなりません。基本的な部分の理解に不安のある方は今年の研修にご参加下さい。「新たな社会奉仕活動への取組み」として我々はホタルの飼育を通じ、環境への認識を深める活動を長年にわたってやってきましたが、現在は活動を中止しています。そろそろそれに変わる新たな社会貢献活動をしなればいけないと考えています。今年度の松前ガバナーも社会貢献を課題にしていますので、何らかの方向性だけでも今年度中に出したいと思っています。「創立の精神の継承(第2世代へ)」は我々も心しなければいけないことです。瑞穂RCは32年前に創立されましたが、当時40歳だった会員も今では70歳を超えています。30年以上このクラブを牽引し続けてくれたので、もう少し楽にクラブライフを楽しんでいただきたいものです。その為には今の40代50代の会員が、創立時からの第1世代会員の思いをきちんと理解し受け継ぎ、『心配がないから任せる』と言われるようなクラブにしていかなければなりません。研修もその為で、先輩にご心配をかけさせないような受け皿になる自覚を持って欲しいからです。

具体的な活動計画として6つの項目を挙げさせて頂きました。

1.委員会を開きましょう

きちんと委員会を開き、委員長任せにせず、委員会のみんなで話し合しましょう。

2.例会の在り方を工夫しましょう

例会のパターンは一つではありません。他クラブの例会に参加する機会があれば積極的に参加し、どんな例会があるか見てくることをお勧めします。

3.研修委員会・研修計画

今年からR情報委員会がR情報・研修委員会になりました。私も委員会の一人ですが、あまり堅苦しくなくロータリーへの理解が深まるような研修をしたいと思っていますので、是非今年の研修にご参加下さい。

4.情報の共有(地区情報・理事会決議・同好会)

他のクラブや地区を見る機会があれば、その都度ご報告いただけると助かります。

5.社会奉仕活動への取組み

6.地区大会の準備

今年度は地区大会があり、通常の活動にプラスして忙しくなります。負荷が高くなりますと、揉めるクラブと団結力が高まるクラブがあります。揉めて割れるようなクラブにならず、お互いに議論を尽くして、本音で話をしよってよりよい仲間になっていただきたいです。1年間よろしくお願ひいたします。

国際ロータリー・ニュース

グローバル補助金でマラリア予防と治療を支援



昨年、サハラ砂漠以南のアフリカでは、マラリアによって約75万の命が失われ、その85%が幼い子どもたちでした。

そこで、4カ国のロータリアンが協力し、マリ共和国の最も貧しい地域で、ロータリー財団のグローバル補助金を活用し、内科

治療のほか、防虫加工の蚊帳やマラリア予防・治療のための医薬品を提供する支援活動を行っています。財団の未来の夢計画における重点分野の一つ、「疾病予防と治療」に関連したこのプロジェクトは、グローバル補助金26,666ドルと、未来の夢の試験地区から寄せられた33,000ドルの寄付、更にインドやアフリカ西部の試験地区ではないクラブからの寄付によって支えられています。

バマコ・アミティ・ロータリー・クラブ(マリ共和国)は、支援活動の調整と監視活動を行っています。クラブはまた、貧困と疾病の問題に取り組む地元の非政府組織とも協力しています。

一方、キャピトルヒル・クラブ(米国ワシントンD.C.)は、インターネットサイト「Crowdrise」を通じて募金をしています。また、プロジェクトの進展を伝え、報道関係との連絡を取るために、フェイスブック、ツイッター、リンクトイン(LinledIn)などのソーシャルネットワークサイトも活用しています。「わずか数ドルで購入できる医薬品が欠如しているために、毎年100万人近くの子どもの命を落とすようなことがあってはならない」と、同クラブの会員は語気を強めます。

プロジェクト開始後の3カ月間(2~4月)に、3,000人の人々が地元の保健センターを訪れた一方で、保健員が12,700戸の家庭を訪問しました。結果として、マラリアにかかった900人の子どもを治療し、そのうち8割は、医療介入が最も緊要とされる発症後48時間以内に治療を行うことができました。また今年6月、現地の全家庭(住民56,700人以上)を対象に調査を行い、22,300枚以上の蚊帳が必要とされていることが分かりました。7月には、マラリア対策に取り組む団体の協力も加わり、21,500枚が配布される予定です。また現在、蚊帳の不足分を補うために、マリ共和国の保健省とも連絡を取り合っています。

「信じられないほどの変化を生むことができた」と語るのは、協力組織の一つ「Project Muso Ladamunen」の創設者アリ・ジョンソンさんです。ロータリーが果たした役割に「感謝の言葉も見つからない」と話してくれました。

例会のご案内

■今週の行事 7月14日(木) 第1回クラブフォーラム
内 容: 決算・予算・委員会方針

■次週の行事 7月21日(木) 第2回クラブフォーラム
内 容: 委員会方針

■次々週行事 7月28日(木) 親睦例会
場 所: スーパードライ名古屋
時 間: 18:00~20:00